

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	経済学（社会選択）	
科目基礎情報							
科目番号		0117		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		総合科学科		対象学年		5	
開設期		前期・後期		週時間数		4	
教科書/教材		使用しない					
担当教員		吉村 英俊,福井 直人					
到達目標							
1）資本主義経済の特質や財政・金融などの機能、経済面での政府の役割について理解できる。 2）現代社会の政治的・経済的諸課題、および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。 3）株式会社ないし企業経営のしくみ、およびその今日的動向について、理論と現実の双方を理解できる。 4）地域・国内・海外の経済情勢を踏まえたうえで、今後の経済や経営のあり方について自分なりの意見を主張することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		資本主義経済の特質や財政・金融などの機能、経済面での政府の役割について正しく理解できる。		資本主義経済の特質や財政・金融などの機能、経済面での政府の役割についておおまかに理解できる。		資本主義経済の特質や財政・金融などの機能、経済面での政府の役割について理解できない。	
評価項目2		現代社会の政治的・経済的諸課題、および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて正しく解できる。		現代社会の政治的・経済的諸課題、および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについておおまかに解できる。		現代社会の政治的・経済的諸課題、および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて解できない。	
評価項目3		経済・経営に関する基礎的用語及びそれらに関連するメディア情報を適切に理解できる。		経済・経営に関する基礎的用語及びそれらに関連するメディア情報をほぼ理解できる。		経済・経営に関する基礎的用語及びそれらに関連するメディア情報を適切に理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
準学士課程の教育目標 F② 工業技術と社会・環境との関わりを考えることができる。 準学士課程の教育目標 F③ 技術者としての役割と責任を認識できる。 準学士課程の教育目標 G① 健やかな心身を持ち、社会性、協調性を身に付ける。 準学士課程の教育目標 G② 社会人として、技術者として必要な素養、一般常識や礼儀、マナーについて考えることができる。							
教育方法等							
概要		技術者においては、自らの専門知識を活かすために、経済や経営、法律などの社会科学に関する知識を習得する必要がある。 本授業では、経済・経営に関する基礎的知識を学び、現在国内外で繰り広げられている経済情勢を理解し、説明できるようにする。					
授業の進め方・方法		とくに基礎知識は必要としないが、本授業を機会に新聞やニュースを見るように心掛けて欲しい。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地歴	産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。		2	
			公民	資本主義経済の特質や財政・金融などの機能、経済面での政府の役割について理解できる。		2	
				現代社会の政治的・経済的諸課題、および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。		2	
			地歴・公民	環境問題、資源・エネルギー問題、南北問題、人口・食糧問題といった地球的諸課題とその背景について理解できる。		2	
			国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けた現在までの取り組みについて理解できる。		2		
評価割合							
			試験	合計			
総合評価割合			100	100			
基礎的能力			100	100			